

# JPEC BULLETIN

## 研修センター ニュース

Jun. 2022

編集・発行

公益財団法人

日本薬剤師研修センター

東京都港区西新橋2-3-1

マークライト虎ノ門6階

電話(代表)03-6457-9041

URL <https://www.jpec.or.jp/>

製 作 (株)薬事日報社

### 薬剤師に期待する

一般財団法人 日本医薬情報センター 会長 村上 貴久

コロナ感染症の蔓延が始まってから、もう2年以上経つ。2022年4月現在でも一日の新規感染者数は5万人を超え、累積感染者数は600万人を超えた。

小康状態の現時点では冷静になっているが、一時は感染拡大の不安は大きく、入院病床の逼迫、医療従事者の不足、ワクチン調達の遅延等が社会問題化していた。

対面による感染症の診療は医療従事者にとって危険が伴うこともあり、この間、オンラインによる診療を許容する動きが一気に広がった。昨年4月から既に条件付きでオンライン服薬指導が認められていたが、本年4月からは、初診再診を問わず、制約なく実施できるように省令改正が行われた。また、リフィル処方箋も導入され、症状が安定している患者であれば医師の診療を受けることなく薬剤の処方を受けることができるようになった。5月からは、新技術実証試験の名目でOTC薬の自動販売機が設置されると仄聞する。

必要に迫られての制度の変更であればいたしかたないと思うが、これらの動きが政府の規制改革会議やデジタル臨時行政調査会など、本来医療はどうあるべきかについて議論していない機関からの提言によって進んでいることに一抹の不安を覚える。

医療事情は世界各国で異なる。10km以内に医者もドラッグストアもない国もあれば、日本のように、近隣にかりつけ医、かかりつけ薬局を求めることができる国もある。

今や医療の対面原則を言うとは時代遅れと言われそうであるが、医療資源が充足している場合であれば、医療は対面で行われるべきと思う。対面によってこそ得られる患者の心の平安があるのではないか。

一方、医薬品に関する添付文書等の情報はますます充実し、それを理解するのは患者にとって難しくなっている。このような状況の中で、薬剤師の果たすべき役割はますます重い。

### 今月の主な記事

#### 巻 頭

・薬剤師に期待する 1

#### センター主催研修会

・病態と薬理を理解して薬学的ケアを実践する  
-大腸がん-研修会開催のご案内 2

・e-ラーニングのご案内 3

#### 事業計画等

・令和4年度 事業計画書 5

・令和4年度 収支予算書(正味財産増減方式) 7

・令和4年度 収支予算書(正味財産増減方式)

(内訳表) 8

研修認定薬剤師制度 受講単位3単位

## 病態と薬理を理解して薬学的ケアを実践するー大腸がんー 研修会開催のご案内

主催：日本薬剤師研修センター

後援：日本臨床腫瘍薬学会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、  
日本保険薬局協会、くすりの適正使用協議会

2014年度より上期の病態・薬理シリーズは、日本臨床腫瘍薬学会（JASPO）のご協力の下、「がん」を取り上げています。2022年度上期は、「大腸がん」を開催します。

病態と治療、薬学的介入の実際、保険薬局の取り組み、さらにはがん治療を学ぶ上での資料の考え方について講義していただきます。

受講のお申し込みは、当財団ホームページ（<https://www.jpec.or.jp/>）上の「PECS（薬剤師研修・認定電子システム）」からとなります。詳細は、当財団ホームページをご確認下さい。

### ◆開催日時・会場（予定）

開催地区	日程	会場
東京	2022年7月3日(日)	ベルサール八重洲 2階 Room A.B.C (東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル)

### ◆プログラム（予定）：※プログラムの順番等は変更される場合がありますので、ご了承下さい。

時間	演題	講師（敬称略）
10：20～10：30	挨拶	日本薬剤師研修センター
10：30～12：00	大腸がんの病態と治療	社会医療法人同心会古賀総合病院 診療部 外科医長 菅瀬 隆信
60分	お昼休憩	
13：00～14：00	大腸がんの薬物療法と薬学的ケアの実際	社会医療法人同心会古賀総合病院 薬剤部 長渡 亜子
10分	休憩	
14：10～15：10	大腸がんの治療に対する保険薬局での薬学的ケアの実際と取り組み	株式会社MIZ(ミズ) 溝上薬局 八坂 瑞臣
15分	休憩	
15：25～16：25	がん治療を学ぶ上での資料の考え方について	独立行政法人国立病院機構 相模原病院 薬剤部 高橋 郷

### ◆受講料（講演要旨集代、送付込）：※お申込み完了後の受講料の返金はいたしませんので予めご了承下さい。

一般：6,600円（本体6,000円、税600円）

当財団個人賛助会員：5,500円（本体5,000円、税500円）

## e-ラーニングのご案内

当財団主催研修会が、e-ラーニングで受講できます。受講申込は、当財団ホームページ上の「PECS（薬剤師研修・認定電子システム）」からとなります。

申込方法等詳細は、当財団ホームページに掲載していますので、そちらをご確認の上、お申込下さい（定員のあるものは、定員になり次第、受付締切となります）。

なお、研修会によっては、継続的に受講申込を受け付けています。研修会名称・収録日が同じものは、同一の研修会ですのでご注意ください。

### 各都道府県で開催される研修認定薬剤師制度対象研修会

認定対象研修会をご案内します。これらの研修会の認証番号はG01です。

研修会によっては、参加資格、参加費用が必要な場合や、定員により受講申込を締め切っている場合等がありますので、それぞれの問い合わせ先にご確認の上、ご参加下さい。

一覧表で、「適用（漢方薬生薬認定）」に印のついている研修会に参加し取得した単位は、「漢方薬・生薬認定薬剤師更新のための単位」として、「適用（小児認定）」に印のついている研修会に参加し取得した単位は、「小児薬物療法認定薬剤師更新のための単位」としても利用できます。

なお、直近の情報については、当財団ホームページでご案内しておりますので、併せてご活用下さい（情報が変更になっている場合もありますので、ご注意ください）。

#### □集合研修会・学術集会

研修会参加の際は、問い合わせ先に事前連絡の上、参加の可否を確認して下さい。

（事前にPECS（薬剤師研修・認定電子システム）に個人情報登録の完了が必要です。個人情報登録（新規登録）をされていない方は、まず登録をお願いします（1回のみ））

研修会当日は、下記を必ず持参して下さい。

- ・本人確認ができるもの
- ・PECS（薬剤師研修・認定電子システム）に個人情報登録した後、PECSより表示できるQRコード  
（QRコードを読取装置に提示し読み取らせませす。受講受付時と受講終了後の2回の読取りが必要）

#### ▶各都道府県で開催される集合研修会・学術集会

都道府県	開催日	研修会名称 研修会内容	主催者(実施機関) 問い合わせ先	会場	確定 単位数	適用 (漢方薬 生薬認定)	適用 (小児 認定)
東京	6/5(日)	令和4年度 第1回 昭和薬科大学 公開教育講座 漢方医学の現状と将来像	昭和薬科大学 kokai-kouza@ac.shoyaku.ac.jp (公開講座担当)	昭和薬科大学 記念講堂	2	●	
東京	7/10(日)	第19回後期 朴庵塾セミナー 初級座学③ 初級 漢方の基礎と漢方薬の使い方	一般社団法人 方術信和会 bokuanjuku@gmail.com (今井喜登)	ワイム貸し会議室お茶の水	3	●	
東京	7/10(日)	第19回後期 朴庵塾セミナー 中級座学③ 中級 金匱要略の読み方と解説	一般社団法人 方術信和会 bokuanjuku@gmail.com (今井喜登)	ワイム貸し会議室お茶の水	3	●	
静岡	7/23(土)	第5回 静岡中部渡航医学セミナー(兼 第50回 静岡小児臨床研究ネットワーク勉強会) 渡航ワクチン外来で学んだ狂犬病とその対策	一般社団法人 TOMOSO 054-204-0455 (鈴木早苗)	B-nest 静岡市産学交流センター プレゼンテーションルーム	2		
静岡	8/20(土)	第9回 スポーツ医学セミナー(兼 第51回 静岡小児臨床研究ネットワーク勉強会) “無糖”に騙されないで！目で見える砂糖の接種量～身近な飲み物のおはなし～	一般社団法人 TOMOSO 054-204-0455 (鈴木早苗)	B-nest 静岡市産学交流センター プレゼンテーションルーム	2		
東京	9/11(日)	第19回後期 朴庵塾セミナー 初級座学④ 初級 漢方の基礎と漢方薬の使い方	一般社団法人 方術信和会 bokuanjuku@gmail.com (今井喜登)	ワイム貸し会議室お茶の水	3	●	
東京	9/11(日)	第19回後期 朴庵塾セミナー 中級座学④ 中級 金匱要略の読み方と解説	一般社団法人 方術信和会 bokuanjuku@gmail.com (今井喜登)	ワイム貸し会議室お茶の水	3	●	

## □ウェブ利用研修（集合研修即時配信）・ウェブ利用研修（学術集会）

研修会参加の際は、問い合わせ先に事前連絡の上、参加の可否を確認して下さい。

（事前にPECS（薬剤師研修・認定電子システム）に個人情報登録の完了が必要です。個人情報登録（新規登録）をされていない方は、まず登録をお願いします（1回のみ））

研修会実施機関において本人確認・受講確認がされます。研修会実施機関の指示に従って受講して下さい。

## ▶各都道府県で開催されるウェブ利用研修（集合研修即時配信）・ウェブ利用研修（学術集会）

開催日	研修会名称 研修会内容	主催者(実施機関) 問い合わせ先	確定単位数	適用 (漢方薬 生薬認定)	適用 (小児認定)
6/18(土)	わかりやすい臨床統計講座② 臨床試験デザインのポイント1	東京理科大学薬学部 sccper@admin.tus.ac.jp（センター事務局）	2		
6/18(土)	食品安全講座① 食物アレルギーとその表示	東京理科大学薬学部 sccper@admin.tus.ac.jp（センター事務局）	1		
6/22(水)	地域薬剤師スキルアップ研修会 感染症後の不調を漢方の視点から見る	一般社団法人 地域薬剤師スキルアップ研究会 areapharmacy-as@umin.ac.jp（田中幸子）	1	●	
6/25(土)	わかりやすい臨床統計講座③ 統計のコンセプト	東京理科大学薬学部 sccper@admin.tus.ac.jp（センター事務局）	2		
6/25(土)	食品安全講座① 食品企業における食物アレルギーへの取り組み	東京理科大学薬学部 sccper@admin.tus.ac.jp（センター事務局）	1		
7/10(日)	第19回後期 朴庵塾セミナー 初級オンライン③ 初級 漢方の基礎と漢方薬の使い方	一般社団法人 方術信和会 bokuanjuku@gmail.com（今井喜登）	3	●	
7/10(日)	第19回後期 朴庵塾セミナー 中級オンライン③ 中級 金匱要略の読み方と解説	一般社団法人 方術信和会 bokuanjuku@gmail.com（今井喜登）	3	●	
7/13(水)	ファーマシーセミナーアドバンスオンライン研修 2022年診療報酬改定に伴う地域医療連携への影響～リフィル処方箋、オンライン服薬指導、対人業務の評価～	一般社団法人 日本薬局学会 seminar@ps-japan.org（木内恵）	1		
9/11(日)	第19回後期 朴庵塾セミナー 初級オンライン④ 初級 漢方の基礎と漢方薬の使い方	一般社団法人 方術信和会 bokuanjuku@gmail.com（今井喜登）	3	●	
9/11(日)	第19回後期 朴庵塾セミナー 中級オンライン④ 中級 金匱要略の読み方と解説	一般社団法人 方術信和会 bokuanjuku@gmail.com（今井喜登）	3	●	
10/8(土)	第87回 医療薬学公開シンポジウム 「がん医療の問題点と現状：Overview」	一般社団法人 日本医療薬学会 0561-62-6095（名城大学薬学部：築山郁人）	2		

### 研修認定薬剤師制度 e-ラーニング研修

e-ラーニング研修のメリットは、薬剤師が自ら必要な研修項目を選択し、時間にとらわれることなく自己計画によって学習できることにあります。申込は、それぞれの実施機関をお願いします。

研修会名称	実施機関
インターネット薬剤師生涯教育講座	ファーマストリーム ( <a href="http://www.pharmastream.net/">http://www.pharmastream.net/</a> )
メディカルナレッジ	医療教育研究所 ( <a href="https://www.medical-knowledge.net/">https://www.medical-knowledge.net/</a> )
薬剤師のためのe-ラーニング	MPラーニング ( <a href="https://www.mp-learning.com/">https://www.mp-learning.com/</a> )
地域包括ケアを担う薬局薬剤師の為のインターネット研修	杉浦記念財団 ( <a href="https://sugi-zaidan.jp/smf/iseminar/">https://sugi-zaidan.jp/smf/iseminar/</a> )
かかりつけ薬剤師.com	医歯薬アドバンス365 ( <a href="https://www.かかりつけ薬剤師.com/">https://www.かかりつけ薬剤師.com/</a> )
AMEE薬剤師生涯学習プログラム	医薬教育倫理協会 ( <a href="https://pll.amee.or.jp/">https://pll.amee.or.jp/</a> )
「サブネット」かかりつけ薬剤師の為のサプリメント・健康食品動画研修プログラム	NHPインターナショナル認定機構 ( <a href="http://sapnet.jp/">http://sapnet.jp/</a> )

## 令和4年度 事業計画書

あらゆる職域の薬剤師のために生涯研修の機会を提供するとともに、生涯研修の成果を認定することにより、わが国の薬剤師の資質向上を図ることを目的に以下の研修・認定事業を実施する。また、薬剤師研修・認定電子システムを構築して、業務の電子化を進め、受講者、認定者等の利便性の向上を図るとともに、不正の防止に資する。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、研修会等の実施に当たって必要な対策を講ずるものとする。

### 1. 薬剤師研修・認定電子システム（略称PECS）

研修認定薬剤師制度、漢方薬・生薬認定薬剤師制度及び小児薬物療法認定薬剤師制度を包括する薬剤師研修・認定電子システムを運用する。このシステムは、研修の開催、研修の受講、研修認定等全般に関して、電子的に処理するものである。本稼働前に準備が必要な薬剤師の登録などについては令和3年3月から開始しており、令和4年4月1日に本稼働する。

### 2. 研修認定薬剤師制度

#### (1) 認定証の発行

あらゆる職域の薬剤師を対象に、「研修認定薬剤師」として生涯研修実績を認定する。令和4年度は、新規、更新あわせて約45,000件の認定証発行を予定する。また、薬剤師生涯学習達成度確認試験の合格者であって、研修認定薬剤師の認定を受けた者に対しては、生涯学習指導薬剤師の称号を付与し、その旨を記載した研修認定薬剤師証を交付する。

#### (2) 委員会等の開催

研修認定制度委員会を2、3回開催する。また、薬剤師研修協議会連絡会を適宜開催する。

#### (3) 研修単位の交付

認定に必要な研修単位の発行対象となる研修会等を企画・実施する研修会実施機関（非営利団体）を審査し、登録することにより、薬剤師の研修を推進する。

### 3. 漢方薬・生薬認定薬剤師制度

#### (1) 認定証の発行

一般社団法人日本生薬学会と共同で、漢方薬・生薬に関し専門性の高い薬剤師を養成し、「漢方薬・生薬認定薬剤師」として認定する。令和4年

度は新規、更新あわせて約1,000件の認定証発行を予定する。

#### (2) 漢方薬・生薬研修委員会

漢方薬・生薬認定薬剤師制度の運営方法等について検討するため、年に3回程度、漢方薬・生薬研修委員会を開催する。

#### (3) 漢方薬・生薬研修の実施

##### (ア) 認定研修

##### ① 座学コース

東京会場にて実施する。募集予定者数45名。

##### ② インターネットコース

ストーリーミング型で配信する。募集予定者数500名。

##### ③ 薬用植物園実習

全国の薬用植物園約50か所にて実施する。

##### (イ) 更新者向け研修

##### ① 漢方薬・生薬薬剤師講座

収録済のDVDの一部を更新用必須研修としてストーリーミング型で配信する（e-ラーニング）。

##### ② 薬用植物園実習研修

全国の薬用植物園約50か所にて実施する。

#### (4) 試問の実施

所定の漢方薬・生薬研修会の修了者に対し試問を行い、合格証を発行する。

### 4. 小児薬物療法認定薬剤師制度

#### (1) 認定証の発行

日本小児臨床薬理学会と共同で、小児科領域において医薬品に関わる専門的立場から医療チーム

の一員として小児薬物療法に参画するための能力と適性を備え、さらに患児とその保護者等に対しても適切な助言及び行動ができる薬剤師を養成し、「小児薬物療法認定薬剤師」として認定する。令和4年度は新規、更新あわせて200件の認定証発行を予定する。

#### (2) 小児薬物療法研修委員会

小児薬物療法認定薬剤師制度に必要な研修内容及び制度の運営方法について検討するため、年に数回、小児薬物療法研修委員会を開催する。また、試験問題の作成等を行うため、小児薬物療法認定薬剤師認定試験問題作成委員会を年に数回開催する。

#### (3) 小児薬物療法研修の実施

株式会社日経ラジオ社(ラジオNIKKEI)に委託し、e-ラーニングにより小児薬物療法研修を実施する。令和4年度は令和4年7月から令和5年2月まで、36コマ(1コマ約1時間)を順次配信する。募集予定者数200名。あわせて、1日病院実務研修を実施する。

#### (4) 試験の実施

e-ラーニング研修修了者に対し試験を実施する。

### 5. 薬剤師生涯学習達成度確認試験

#### (1) 試験の実施

薬剤師の関係主要団体5団体が共同で行う生涯学習の評価システムである薬剤師生涯学習達成度確認試験の第6回目を令和4年7月31日に実施する。

#### (2) 合格証の発行

令和4年度は、受験者数300名を予定。合格者には合格証を交付する。

#### (3) 委員会等の開催

薬剤師生涯学習達成度確認試験の適正な実施のため、「運営協議会」を年1回程度、「実務委員会」を年2回程度開催する。

### 6. 研修会等の開催

#### (1) 病態・薬理シリーズ研修の実施

##### (ア) 座学研修

##### ① 上期 大腸がん(東京)

募集予定者数100名

##### ② 下期 未定(東京)

募集予定者数100名

##### (イ) e-ラーニング

(ア)を収録し、ストリーミング型で配信する。令和4年度は、大腸がん、高血圧症、国際感染症Ⅰ、国際感染症Ⅱ及び国際感染症Ⅲの予定。

##### (ウ) ビデオ・オン・デマンド(VOD)研修(ケアネット)

株式会社ケアネットによりe-ラーニング配信する。配信内容は(イ)と同じ。

#### (2) 日本薬剤師会共催研修会の開催(健康サポート薬局研修)

日本薬剤師会と協力して実施する健康サポート薬局研修の研修修了証の交付を行う。

#### (3) その他のe-ラーニングの実施

一般社団法人くすりの適正使用協議会、一般社団法人薬学教育協議会、一般社団法人日本生薬学会などの薬学関連団体と協議のうえ、薬剤師の資質向上に資する内容のコンテンツの作成を行い、e-ラーニング又はビデオ・オン・デマンド(VOD)研修(ケアネット)を行う。

### 7. 広報・研修等支援

#### (1) 広報

広報の媒体としてホームページ、研修センターニュース、JPECニュースレター(メールマガジン)を用い、研修・認定制度の状況、研修会の案内等広報の充実に努める。

薬剤師研修・認定電子システムの円滑な運用のため、説明文書の作成・配付など広報活動を行う。

#### (2) 研修教材の編集、頒布等

令和3年度に監修したJPDI 2021の普及に努める。

認定薬剤師カードの頒布により、国民への認定薬剤師の周知に努める。

#### (3) 研修会開催支援

都道府県薬剤師研修協議会を対象に、薬剤師にとって必要な研修会の開催を支援する。

令和4年度収支予算書(正味財産増減方式)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	4,204,000	4,215,000	△11,000	
基本財産受取利息	4,204,000	4,215,000	△11,000	
②受取会費	6,500,000	6,860,000	△360,000	
賛助会員受取会費	6,500,000	6,860,000	△360,000	
③受取寄附金	300,000	500,000	△200,000	
受取寄附金	400,000	500,000	△100,000	
④事業収益	696,398,000	538,044,000	158,354,000	
研修認定	669,680,000	518,804,000	150,876,000	
出版物等販売・編集・監修	14,992,000	19,240,000	△4,248,000	
作成販売	11,726,000	0	11,726,000	
⑤雑収益	5,000	1,000	4,000	
経常収益計	707,407,000	549,620,000	157,787,000	
(2) 経常費用				
①事業費	698,858,000	717,403,000	△18,545,000	
役員報酬	8,664,000	14,420,000	△5,756,000	
職員給与	110,310,000	99,000,000	11,310,000	
通勤手当	3,431,000	3,370,000	61,000	
福利厚生費	16,660,000	17,500,000	△840,000	
賃金雇上費	39,600,000	54,000,000	△14,400,000	
退職給付費用	5,940,000	6,050,000	△110,000	
旅費交通費	5,106,000	14,560,000	△9,454,000	
通信運搬費	41,859,000	13,420,000	28,439,000	
減価償却費	5,096,000	550,000	4,546,000	
印刷製本費	44,936,000	31,634,000	13,302,000	
諸謝金	9,073,000	11,287,000	△2,214,000	
会議費	25,500,000	17,590,000	7,910,000	
事務所費	32,062,000	27,455,000	4,607,000	
事務費	214,121,000	111,159,000	102,962,000	
業務委託費	66,500,000	272,300,000	△205,800,000	
諸雑費	0	0	0	
ソフトウェア償却費	70,000,000	23,108,000	46,892,000	
②管理費	6,821,000	8,767,000	△1,946,000	
役員報酬	756,000	1,000,000	△244,000	
職員給与	1,880,000	2,500,000	△620,000	
通勤手当	70,000	155,000	△85,000	
福利厚生費	340,000	607,000	△267,000	
賃金雇上費	0	0	0	
退職給付費用	60,000	15,000	45,000	
旅費交通費	672,000	472,000	200,000	
通信運搬費	29,000	110,000	△81,000	
減価償却費	104,000	35,000	69,000	
印刷製本費	25,000	25,000	0	
諸謝金	0	0	0	
会議費	11,000	20,000	△9,000	
事務所費	654,000	1,445,000	△791,000	
事務費	2,220,000	2,383,000	△163,000	
諸雑費	0	0	0	
経常費用計	705,679,000	726,170,000	△20,491,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	1,728,000	△176,550,000	178,278,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	1,728,000	△176,550,000	178,278,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除去損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,728,000	△176,550,000	178,278,000	
一般正味財産期首残高	800,286,892	976,836,892	△176,550,000	
一般正味財産期末残高	802,014,892	800,286,892	1,728,000	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	479,050,000	479,050,000	0	
指定正味財産期末残高	479,050,000	479,050,000	0	
III 正味財産期末残高	1,281,064,892	1,279,336,892	1,728,000	

## 令和4年度収支予算書(正味財産増減方式)(内訳表)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計 (研修認定事業)	収益事業会計			法人会計	内部取引控除	合 計
		(出版監修事業)	(作成販売事業)	(小計)			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	2,102,000	0	0	0	2,102,000	0	4,204,000
基本財産利息収入	2,102,000	0	0	0	2,102,000	0	4,204,000
受取会費	0	0	0	0	6,500,000	0	6,500,000
賛助会員会費収入	0	0	0	0	6,500,000	0	6,500,000
受取寄付金	150,000	0	0	0	150,000	0	300,000
寄付金収入	150,000	0	0	0	150,000	0	300,000
事業収益	669,680,000	14,992,000	11,726,000	26,718,000	0	0	696,398,000
研修認定	669,680,000	0	0	0	0	0	669,680,000
出版物等販売・編集・監修	0	14,992,000	0	14,992,000	0	0	14,992,000
作成販売収入	0	0	11,726,000	11,726,000	0	0	11,726,000
雑収益	5,000	0	0	0	0	0	5,000
経常収益計	671,937,000	14,992,000	11,726,000	26,718,000	8,752,000	0	707,407,000
(2) 経常費用							
①事業費	676,310,000	13,245,000	9,303,000	22,548,000	0	0	698,858,000
役員報酬	8,664,000	0	0	0	0	0	8,664,000
職員給与	106,774,000	2,511,000	1,025,000	3,536,000	0	0	110,310,000
通勤手当	3,325,000	53,000	53,000	106,000	0	0	3,431,000
福利厚生費	16,150,000	255,000	255,000	510,000	0	0	16,660,000
賃金雇上費	39,200,000	400,000	0	400,000	0	0	39,600,000
退職給付費用	5,760,000	90,000	90,000	180,000	0	0	5,940,000
旅費交通費	5,106,000	0	0	0	0	0	5,106,000
通信運搬費	38,399,000	795,000	2,665,000	3,460,000	0	0	41,859,000
減価償却費	4,940,000	78,000	78,000	156,000	0	0	5,096,000
印刷製本費	34,874,000	5,618,000	4,444,000	10,062,000	0	0	44,936,000
諸謝金	9,073,000	0	0	0	0	0	9,073,000
会議費	25,500,000	0	0	0	0	0	25,500,000
事務所費	31,080,000	491,000	491,000	982,000	0	0	32,062,000
事務費	210,965,000	2,954,000	202,000	3,156,000	0	0	214,121,000
業務委託費	66,500,000	0	0	0	0	0	66,500,000
諸雑費	0	0	0	0	0	0	0
ソフトウェア償却費	70,000,000	0	0	0	0	0	70,000,000
②管理費	0	0	0	0	6,821,000	0	6,821,000
役員報酬	0	0	0	0	756,000	0	756,000
職員給与	0	0	0	0	1,880,000	0	1,880,000
通勤手当	0	0	0	0	70,000	0	70,000
福利厚生費	0	0	0	0	340,000	0	340,000
賃金雇上費	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	60,000	0	60,000
旅費交通費	0	0	0	0	672,000	0	672,000
通信運搬費	0	0	0	0	29,000	0	29,000
減価償却費	0	0	0	0	104,000	0	104,000
印刷製本費	0	0	0	0	25,000	0	25,000
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	11,000	0	11,000
事務所費	0	0	0	0	654,000	0	654,000
事務費	0	0	0	0	2,220,000	0	2,220,000
諸雑費	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	676,310,000	13,245,000	9,303,000	22,548,000	6,821,000	0	705,679,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△4,373,000	1,747,000	2,423,000	4,170,000	1,931,000	0	1,728,000
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△4,373,000	1,747,000	2,423,000	4,170,000	1,931,000	0	1,728,000
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
固定資産除去損	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	2,085,000			△2,085,000			0
当期一般正味財産増減額	△2,288,000			2,085,000	1,931,000		1,728,000
一般正味財産期首残高	649,868,540			81,403,903	69,014,449		800,286,892
一般正味財産期末残高	647,580,540			83,488,903	70,945,449		802,014,892
II 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	239,525,000	0	0	0	239,525,000	0	479,050,000
指定正味財産期末残高	239,525,000	0	0	0	239,525,000	0	479,050,000
III 正味財産期末残高	887,105,540	0	0	83,488,903	310,470,449	0	1,281,064,892